



平成30年11月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年10月2日

上場会社名 キューピー株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2809 URL <http://www.kewpie.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 長南 収
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営推進本部長 (氏名) 篠原 真人 TEL 03-3486-3331
 四半期報告書提出予定日 平成30年10月15日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 有
 四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年11月期第3四半期の連結業績（平成29年12月1日～平成30年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年11月期第3四半期	433,446	3.0	26,119	7.1	27,363	8.3	14,689	2.4
29年11月期第3四半期	421,013	1.7	24,390	4.1	25,264	4.1	14,343	5.5

(注) 包括利益 30年11月期第3四半期 16,509百万円 (△29.5%) 29年11月期第3四半期 23,404百万円 (113.0%)

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
30年11月期第3四半期	99	90	—	—
29年11月期第3四半期	95	46	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年11月期第3四半期	435,604	53.9	273,568	53.9	234,697	53.9
29年11月期	419,207	54.0	263,432	54.0	226,439	54.0

(参考) 自己資本 30年11月期第3四半期 234,697百万円 29年11月期 226,439百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円	銭	円	銭	円
29年11月期	—	18.00	—	18.50	36.50
30年11月期	—	19.00	—	—	—
30年11月期（予想）	—	—	—	19.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 平成30年11月期の連結業績予想（平成29年12月1日～平成30年11月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円
通期	580,000	3.3	33,500	7.2	34,600	6.4	18,600	2.8	126.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社（社名）丘比（中国）有限公司、除外 1社（社名）

（注）詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年11月期3Q	150,000,000 株	29年11月期	150,000,000 株
② 期末自己株式数	30年11月期3Q	2,956,615 株	29年11月期	2,955,521 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年11月期3Q	147,043,926 株	29年11月期3Q	150,265,371 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	10
3. 補足情報	11
(1) 売上高・営業利益の状況と営業利益の増減要因	11
(2) 設備投資と主要な販売費・一般管理費	13
(3) 国内におけるサラダ調味料の業態別販売量および金額（キユーピー株式会社）	13
(4) 海外展開 売上高・営業利益の状況	14
(5) 営業外・特別損益の主な増減内容	14
(6) 貸借対照表の概要、増減内容	15

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

◇ 当社グループ（当社および連結子会社）の状況

平成28年度からの3年間を対象とする中期経営計画では、グループの新たな挑戦で飛躍的成長を実現させるべく、「ユニークさの発揮と創造」を軸にした4つの経営方針（経営基盤の強化、コスト競争力の強化、付加価値の創造、新領域への挑戦）にグループが連携して取り組み、企業価値の一層の向上に努めています。

・売上高

国内の鶏卵相場の下落の影響を受けましたが、中食市場向けのカット野菜や惣菜が好調に推移したことにより、4,334億46百万円と前年同期に比べ124億33百万円（3.0%）の増収となりました。

・利益

労務費などのコスト増加の影響を受けましたが、米国の乾燥卵相場の上昇や付加価値品の伸張などが進み、営業利益は261億19百万円と前年同期に比べ17億29百万円（7.1%）、経常利益は273億63百万円と前年同期に比べ20億99百万円（8.3%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は146億89百万円と前年同期に比べ3億46百万円（2.4%）の増益となりました。

◇ セグメント別の状況

[売上高の内訳]

(単位：百万円)

	前第3四半期 (自平成28年12月1日 至平成29年8月31日)	当第3四半期 (自平成29年12月1日 至平成30年8月31日)	増減(金額)	増減(比率)
調味料	113,246	116,188	2,942	2.6%
タマゴ	74,695	74,503	△192	△0.3%
サラダ・惣菜	86,662	92,919	6,257	7.2%
加工食品	35,244	35,618	374	1.1%
ファインケミカル	7,806	7,429	△377	△4.8%
物流システム	97,699	102,635	4,936	5.1%
共通	5,658	4,152	△1,506	△26.6%
合計	421,013	433,446	12,433	3.0%

[営業利益の内訳]

(単位：百万円)

	前第3四半期 (自平成28年12月1日 至平成29年8月31日)	当第3四半期 (自平成29年12月1日 至平成30年8月31日)	増減(金額)	増減(比率)
調味料	11,922	11,507	△415	△3.5%
タマゴ	3,316	4,714	1,398	42.2%
サラダ・惣菜	2,913	3,395	482	16.5%
加工食品	553	762	209	37.8%
ファインケミカル	551	761	210	38.1%
物流システム	4,477	4,360	△117	△2.6%
共通	654	618	△36	△5.5%
合計	24,390	26,119	1,729	7.1%

調味料

- ・海外でのマヨネーズ・ドレッシングが好調に推移し増収
- ・野菜価格高騰の影響による国内売上の伸び悩み、減価償却費の増加などにより減益

タマゴ

- ・国内の鶏卵相場下落の影響により減収
- ・米国の復調に加え、国内の付加価値品の伸張などにより増益

サラダ・惣菜

- ・取扱い店舗の拡大などによるカット野菜の伸張、新たな販路への展開が進み増収
- ・新たな販路への展開やコスト改善が進展し増益

加工食品

- ・まるごと果実やパスタソース、北海道コーンなどの伸張により増収
- ・不採算商品の見直しや増収効果により増益

ファインケミカル

- ・医薬用EPAの減少が影響し減収
- ・海外向けを中心に機能性ヒアルロン酸が伸張し増益

物流システム

- ・既存顧客の受託エリア拡大や連結子会社の増加により増収
- ・保管・運送の合理化は進展したが、燃料や車両の調達コストの増加により減益

共通

- ・食品メーカー向け製造機械の販売減少により減収減益

(2) 財政状態に関する説明

◇ 総資産、負債、純資産の状況

- ・総資産は、4,356億4百万円と前連結会計年度末に比べ163億97百万円増加
主に現金及び預金、受取手形及び売掛金、建設仮勘定の増加による
- ・負債は、1,620億35百万円と前連結会計年度末に比べ62億60百万円増加
主に未払法人税等、賞与引当金、その他の引当金の増加による
- ・純資産は、2,735億68百万円と前連結会計年度末に比べ101億36百万円増加
主に利益剰余金、非支配株主持分の増加による

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しについては、個人消費の変化や主原料価格の変動など、当社グループにとって不透明な環境が続くものと思われまます。

当社グループは、平成28年度からの3年間を対象とする中期経営計画の最終年度にあたり、グループの力を最大限に発揮して飛躍的な成長をめざすとともに、人材育成や環境保全・社会貢献など、経営基盤の強化に向けた取り組みを着実に進めてまいります。

そのような中、日本国内においては、食の変化やお客様のニーズをいち早くとらえた商品開発やメニュー提案により、グループ協働で売上を拡大させていきます。また、生産・販売・物流での効率化や生産技術の革新によるコスト競争力の向上も図り、利益創出力を高めてまいります。

海外につきましては、人口の増加や食の洋風化が進む中国や東南アジアを中心に、エリアのニーズを的確にとらえた提案で主力商品を伸張させるとともに、日本国内で築いた技術を活かした新たなカテゴリーを展開することで、売上拡大を進めてまいります。

なお、本年7月5日に公表しました平成30年11月期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	29,618	32,245
受取手形及び売掛金	78,212	84,226
有価証券	12,000	9,500
商品及び製品	16,355	17,130
仕掛品	972	1,292
原材料及び貯蔵品	11,377	11,698
その他	8,016	10,712
貸倒引当金	△222	△273
流動資産合計	156,332	166,532
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	185,446	186,620
減価償却累計額	△104,416	△107,330
建物及び構築物（純額）	81,030	79,290
機械装置及び運搬具	170,766	173,837
減価償却累計額	△121,373	△123,332
機械装置及び運搬具（純額）	49,393	50,505
土地	49,820	50,855
建設仮勘定	4,571	11,356
その他	25,437	26,876
減価償却累計額	△15,505	△17,087
その他（純額）	9,931	9,788
有形固定資産合計	194,746	201,796
無形固定資産		
のれん	3,778	3,362
その他	4,580	4,707
無形固定資産合計	8,359	8,070
投資その他の資産		
投資有価証券	34,495	31,998
退職給付に係る資産	12,630	13,893
その他	12,825	13,498
貸倒引当金	△182	△184
投資その他の資産合計	59,769	59,205
固定資産合計	262,875	269,071
資産合計	419,207	435,604

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成29年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	48,008	49,185
短期借入金	8,037	8,429
1年内償還予定の社債	—	10,000
未払法人税等	4,005	5,729
賞与引当金	1,831	5,284
その他の引当金	1,023	2,834
その他	27,791	24,322
流動負債合計	90,697	105,787
固定負債		
社債	10,000	—
長期借入金	35,947	37,209
退職給付に係る負債	3,147	3,151
資産除去債務	1,120	1,121
その他	14,861	14,766
固定負債合計	65,077	56,248
負債合計	155,775	162,035
純資産の部		
株主資本		
資本金	24,104	24,104
資本剰余金	29,425	29,425
利益剰余金	170,583	179,772
自己株式	△6,603	△6,606
株主資本合計	217,509	226,694
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,429	12,398
繰延ヘッジ損益	△3	△23
為替換算調整勘定	△1,141	△1,909
退職給付に係る調整累計額	△3,354	△2,463
その他の包括利益累計額合計	8,929	8,002
非支配株主持分	36,992	38,870
純資産合計	263,432	273,568
負債純資産合計	419,207	435,604

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年12月1日 至平成29年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年12月1日 至平成30年8月31日)
売上高	421,013	433,446
売上原価	323,789	332,304
売上総利益	97,223	101,142
販売費及び一般管理費	72,833	75,023
営業利益	24,390	26,119
営業外収益		
受取利息	52	59
受取配当金	472	470
持分法による投資利益	64	113
その他	949	1,125
営業外収益合計	1,539	1,768
営業外費用		
支払利息	267	260
開業費	137	0
その他	260	262
営業外費用合計	665	523
経常利益	25,264	27,363
特別利益		
投資有価証券売却益	1,134	425
固定資産売却益	62	79
その他	63	—
特別利益合計	1,260	504
特別損失		
固定資産除却損	820	844
減損損失	222	219
退職給付制度終了損	659	—
その他	81	554
特別損失合計	1,784	1,619
税金等調整前四半期純利益	24,740	26,249
法人税等	7,732	8,700
四半期純利益	17,008	17,549
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,664	2,859
親会社株主に帰属する四半期純利益	14,343	14,689

（四半期連結包括利益計算書）
（第3四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自平成28年12月1日 至平成29年8月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自平成29年12月1日 至平成30年8月31日）
四半期純利益	17,008	17,549
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,463	△1,103
繰延ヘッジ損益	△104	△16
為替換算調整勘定	2,788	△898
退職給付に係る調整額	1,248	978
その他の包括利益合計	6,395	△1,039
四半期包括利益	23,404	16,509
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	20,219	13,762
非支配株主に係る四半期包括利益	3,184	2,747

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

第1四半期連結会計期間において、丘比（中国）有限公司を新規設立したため、連結の範囲に含めております。なお、同社は当社の特定子会社に該当しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自平成28年12月1日至平成29年8月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	調味料	タマゴ	サラダ・惣菜	加工食品	ファインケミカル	物流システム	共通	合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額(注)
売上高										
外部顧客への売上高	113,246	74,695	86,662	35,244	7,806	97,699	5,658	421,013	—	421,013
セグメント間の内部売上高又は振替高	5,443	4,521	160	1,572	269	20,954	8,630	41,552	△41,552	—
計	118,690	79,216	86,823	36,817	8,075	118,654	14,288	462,566	△41,552	421,013
セグメント利益	11,922	3,316	2,913	553	551	4,477	654	24,390	—	24,390

(注)セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成29年12月1日至平成30年8月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	調味料	タマゴ	サラダ・惣菜	加工食品	ファインケミカル	物流システム	共通	合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額（注）
売上高										
外部顧客への売上高	116,188	74,503	92,919	35,618	7,429	102,635	4,152	433,446	—	433,446
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,950	3,290	81	1,518	231	23,234	8,893	41,201	△41,201	—
計	120,138	77,794	93,001	37,137	7,661	125,869	13,045	474,648	△41,201	433,446
セグメント利益	11,507	4,714	3,395	762	761	4,360	618	26,119	—	26,119

（注）セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

当第3四半期連結累計期間において、「タマゴ」で減損損失を219百万円計上しております。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

事業分離

当社は、平成30年6月25日開催の取締役会において、当社連結子会社である株式会社グルメデリカのコンビニエンスストア向けのお弁当、おにぎり、惣菜等の製造および販売事業（ただし、草加工場に係る製造および販売事業ならびに本社の冷凍商品本部および営業本部外販営業開発部に係る事業は除く。以下、「本事業」）を新設分割により新設会社に承継（以下、「本会社分割」）させることを決議し、平成30年8月3日に三菱商事株式会社と株式譲渡契約を締結いたしました。また、当該新設会社の株式のうち80%を当社から三菱商事株式会社へ平成30年10月1日に譲渡いたしました。

なお、平成30年10月1日付で、分割会社である株式会社グルメデリカが株式会社草加デリカに商号変更し、株式会社グルメデリカは新設会社の商号となります（以下、「（新）株式会社グルメデリカ」）。

1. 事業分離の概要

(1) 会社分割による事業分離先企業の名称及び株式譲渡先企業の名称

① 会社分割による事業分離先企業の名称

（新）株式会社グルメデリカ

② 株式譲渡先企業の名称

三菱商事株式会社

(2) 分離した事業の内容

事業の内容 コンビニエンスストア向けのお弁当、おにぎり、惣菜等の製造および販売事業

(3) 事業分離を行った主な理由

本事業に係るお客様のニーズが多様化する中、付加価値の高いサービスを提供し続けるには、調達・生産・販売の一貫した経営管理が必要と考え、三菱商事株式会社の株式取得の意向に応えることで本事業の更なる強化につなげることができると判断いたしました。

また、当社にとっては、経営資源の集約を図ることで株主価値の最大化につながるものと判断し、本会社分割および新設会社株式の譲渡を実施することといたしました。

(4) 会社分割日及び株式譲渡日

平成30年10月1日

(5) 法的形式を含むその他取引の概要に関する事項

会社分割 株式会社グルメデリカを分割会社とし、新設会社を承継会社とする新設分割

株式譲渡 受取対価を現金等の財産のみとする株式譲渡

本件株式譲渡により、（新）株式会社グルメデリカに対する当社の持分比率が100%から20%となったため、同社は持分法適用関連会社へ異動しております。

2. 実施した会計処理の概要

(1) 移転損益の金額

現在、算定中であります。

(2) 移転した事業に係る資産及び負債の適正な帳簿価額並びにその主な内訳

現在、算定中であります。

(3) 会計処理

移転した本事業に関する投資は清算されたものとみて、移転したことにより受け取った対価となる現金等の財産の時価と、移転した事業に係る株主資本相当額との差額を移転損益として算定中であります。

3. 分離した事業が含まれていた報告セグメントの名称

サラダ・惣菜事業

4. 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に計上されている分離した事業に係る損益の概算額

売上高 約24,000百万円

営業利益 約700百万円

3. 補足情報

- 注) 1. 表示単位未満の端数は四捨五入にて表示しており、合計が合わない場合があります。
 2. 本資料中の計画数値は、平成30年7月5日発表の数値を表示しております。
 3. 平成28年11月期より、国内連結対象会社の減価償却の計算方法を定率法から定額法に変更しております。

(1) 売上高・営業利益の状況と営業利益の増減要因

【売上高】

(単位：億円)

	事業名	第1四半期	第2四半期	第2四半期累計	第3四半期	第3四半期累計	第4四半期	通期
28年11月期	調味料	340	378	718	378	1,096	345	1,441
	タマゴ	257	261	519	248	767	255	1,022
	サラダ・惣菜	260	281	541	288	829	289	1,118
	加工食品	120	136	257	125	381	131	513
	ファインケミカル	27	26	53	28	81	28	109
	物流システム	304	318	623	324	947	322	1,269
	共通	13	12	25	14	38	13	52
	合計	1,321	1,413	2,734	1,405	4,139	1,384	5,523
29年11月期 (A)	調味料	343	397	740	393	1,132	372	1,504
	タマゴ	240	259	499	248	747	258	1,005
	サラダ・惣菜	275	293	568	298	867	288	1,155
	加工食品	110	123	232	120	352	114	466
	ファインケミカル	23	28	51	27	78	28	106
	物流システム	310	332	642	335	977	335	1,312
	共通	20	20	39	17	57	12	68
	合計	1,321	1,451	2,772	1,438	4,210	1,407	5,617
30年11月期 (B)	調味料	360	401	761	401	1,162		1,570
	タマゴ	242	254	496	249	745		1,011
	サラダ・惣菜	300	312	612	317	929		1,230
	加工食品	109	125	234	122	356		470
	ファインケミカル	21	27	48	26	74		103
	物流システム	326	344	670	356	1,026		1,358
	共通	14	15	29	12	42		58
	合計	1,372	1,478	2,850	1,484	4,334		5,800
前年差 (B-A)	調味料	17	5	21	8	29		66
	タマゴ	1	△ 5	△ 3	2	△ 2		6
	サラダ・惣菜	25	19	44	19	63		75
	加工食品	△ 1	3	2	2	4		4
	ファインケミカル	△ 2	△ 1	△ 3	△ 1	△ 4		△ 3
	物流システム	16	12	28	21	49		46
	共通	△ 5	△ 5	△ 10	△ 5	△ 15		△ 10
	合計	51	27	78	46	124		183

※平成30年11月期通期は、平成30年7月5日発表の計画数値を表示しております。

※第2四半期は第2四半期累計と第1四半期の差、第3四半期は第3四半期累計と第2四半期累計の差、第4四半期は通期と第3四半期累計の差により算出しております。

【営業利益】

(単位：億円)

	事業名	第1四半期	第2四半期	第2四半期累計	第3四半期	第3四半期累計	第4四半期	通期
28年11月期	調味料	16	46	62	47	109	28	137
	タマゴ	15	17	32	14	46	9	55
	サラダ・惣菜	3	11	15	11	26	9	35
	加工食品	△ 2	5	3	3	6	△ 1	5
	ファインケミカル	2	4	6	3	9	1	10
	物流システム	9	12	21	14	35	14	49
	共通	0	2	3	2	4	3	8
	合 計	44	98	142	93	234	64	298
29年11月期 (A)	調味料	26	48	73	46	119	34	153
	タマゴ	10	10	20	13	33	11	44
	サラダ・惣菜	6	11	17	13	29	9	38
	加工食品	△ 1	3	3	3	6	△ 4	2
	ファインケミカル	△ 0	1	1	4	6	3	9
	物流システム	13	16	29	16	45	14	59
	共通	2	3	5	2	7	1	8
	合 計	56	92	148	96	244	69	313
30年11月期 (B)	調味料	26	45	71	44	115		150
	タマゴ	13	17	31	16	47		59
	サラダ・惣菜	6	14	20	14	34		44
	加工食品	1	4	5	3	8		6
	ファインケミカル	△ 0	3	3	5	8		10
	物流システム	8	18	26	17	44		58
	共通	2	2	4	2	6		8
	合 計	57	102	160	102	261		335
前年差 (B-A)	調味料	0	△ 3	△ 3	△ 2	△ 4		△ 3
	タマゴ	3	7	10	4	14		15
	サラダ・惣菜	1	3	3	2	5		6
	加工食品	2	1	2	△ 0	2		4
	ファインケミカル	△ 0	2	1	1	2		1
	物流システム	△ 4	2	△ 3	2	△ 1		△ 1
	共通	0	△ 1	△ 0	△ 0	△ 0		0
	合 計	1	10	12	6	17		22

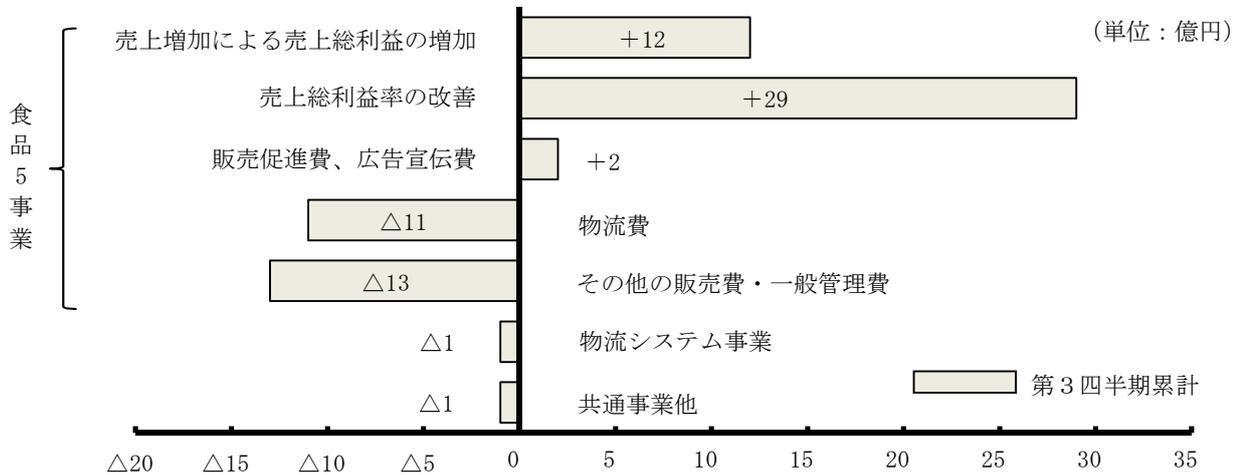
※平成30年11月期通期は、平成30年7月5日発表の計画数値を表示しております。

※第2四半期は第2四半期累計と第1四半期の差、第3四半期は第3四半期累計と第2四半期累計の差、第4四半期は通期と第3四半期累計の差により算出しております。

【営業利益：増減要因（前年差）】

(単位：億円)

	29年11月期 (A)	30年11月期 (B)	前年差 (B) - (A)
第3四半期累計	244	261	17
通期	313	335	22



(2) 設備投資と主要な販売費・一般管理費

(単位：億円)

	28年11月期 第3四半期累計	29年11月期 第3四半期累計 (A)	30年11月期 第3四半期累計 (B)	前年差 (B) - (A)	28年11月期	29年11月期	30年11月期 計画
設備投資	233	213	227	14	330	272	350
減価償却費	142	124	135	12	183	168	183
販売促進費	25	29	28	△1	37	39	43
広告宣伝費	65	72	70	△2	87	95	92
物流費	188	192	203	11	250	258	272
労務費	223	236	246	10	298	313	327
研究開発費	27	28	28	0	40	41	42

※平成28年11月期第3四半期累計および平成28年11月期の減価償却費には、固定資産の償却方法の変更による残存簿価の一括償却28億円が含まれています。

(3) 国内におけるサラダ調味料の業態別販売量および金額（キューピー株式会社）

		28年11月期 第3四半期累計	29年11月期 第3四半期累計 (A)	30年11月期 第3四半期累計 (B)	前年差 (B) - (A)	28年11月期	29年11月期
家庭用	販売量(千t)	98	99	98	△1	126	128
	金額 (億円)	496	501	492	△9	639	650
業務用	販売量(千t)	80	81	81	0	107	107
	金額 (億円)	310	308	310	2	413	409

(4) 海外展開 売上高・営業利益の状況

【売上高】

(単位：億円)

		28年11月期 第3四半期累計	29年11月期 第3四半期累計 (A)	30年11月期 第3四半期累計 (B)	前年差 (B)－(A)	28年11月期	29年11月期	30年11月期 計画
中国		116	131	141	10	157	181	201
東南アジア		57	62	74	12	76	85	99
北米	調味料	47	49	51	2	63	67	64
	タマゴ	46	31	38	7	55	43	53
輸出・新規		22	33	47	14	27	50	64
合 計		288	306	352	46	378	427	481

※海外子会社の第3四半期の数値は10月から6月、通期の数値は10月から9月を対象としております。

※前年差の合計には、為替影響+12億円が含まれております。

※「輸出・新規」には、主に日本からの輸出と欧州の各社の数値が含まれております。

【営業利益】

(単位：億円)

		28年11月期 第3四半期累計	29年11月期 第3四半期累計 (A)	30年11月期 第3四半期累計 (B)	前年差 (B)－(A)	28年11月期	29年11月期	30年11月期 計画
中国		15	15	17	2	22	22	24
東南アジア		2	2	5	3	2	3	5
北米	調味料	4	4	3	△ 0	5	5	4
	タマゴ	5	△ 7	3	10	1	△ 9	1
輸出・新規		4	1	1	1	4	2	1
合 計		29	15	30	14	33	23	36

※海外子会社の第3四半期の数値は10月から6月、通期の数値は10月から9月を対象としております。

※前年差の合計には、為替影響+1億円が含まれております。

※「輸出・新規」には、主に日本からの輸出と欧州の各社の数値が含まれております。

(5) 営業外・特別損益の主な増減内容

(単位：億円)

	28年11月期 第3四半期累計	29年11月期 第3四半期累計 (A)	30年11月期 第3四半期累計 (B)	増減内容 (29年11月期 第3四半期累計対比) (B)－(A)	28年11月期	29年11月期	30年11月期 計画
営業外 損益	8	9	12	開業費の減少 + 1	15	13	11
特別 損益	△ 7	△ 5	△ 11	投資有価証券 売却益の減少 △ 7 事業譲渡による 損失の増加 △ 3 退職給付制度 終了損の減少 + 7	△ 11	△ 17	△ 11

(6) 貸借対照表の概要、増減内容

(単位：億円)

	29年11月期 (A)	30年11月期 第3四半期(B)	増減 (B)－(A)	増減内容 (29年11月期対比)
(資産の部)				
流動資産	1,563	1,665	102	現預金の増加 + 26 売掛債権の増加 + 60 有価証券の減少 △ 25
固定資産				
有形・無形固定資産	2,031	2,099	68	取得による増加 + 212 減価償却による減少 △ 135
投資その他の資産	598	592	△ 6	投資有価証券の減少 △ 25 退職給付に係る資産の増加 + 13
(負債の部)				
	1,558	1,620	63	未払法人税等の増加 + 17 賞与引当金の増加 + 35 その他の引当金の増加 + 18
(純資産の部)				
	2,634	2,736	101	利益剰余金の増加 + 92 非支配株主持分の増加 + 19